



たか子のあつたが通信

発行責任者：塩原孝子 連絡先：松本市寿北5-15-27 Email：takako092@outlook.jp ☎0263-27-1122（共産党）

平和な社会を次の世代に



新年あけまして
おめでとうございます
ございませす

新しい年を 皆さんはどのようなように
お迎えでしょうか。

今年こそマスク着用のない元どおりの生活を送りたいという想いの方がほとんどだと思います。コロナの早い収束を願うばかりです。

又、物価高騰も深刻さを増しています。お買物も楽しめる年にしたいですね。

昨年末は高校生の皆さんと交流する機会がありました。高校生から「岸田さんは防衛費を増額する為に増税すると言ってるけど不安です」という声も聞きました。次の世代に平和な社会を手渡せるようみなさんと共にがんばりたいと思います。

春には統一地方選挙があります。暮らしの願いを市政に届けるため、全力を尽くします。

松本市議会議員

塩原たか子

いのち・暮らし優先の市政を



コロナ禍で短縮されていた質問時間がやっと元に戻り、75分間をしっかりと活用して5件の質問をしました。子ども・障がい者・ジェンダー問題について施策提案の姿勢で臨みました。

ヤングケアラーに支援を

ヤングケアラーは子ども十人に一人の割合でいるといわれています。

子ども達は学習や睡眠する時間を削り、本来は大人が担うべき家族の介護や兄弟の世話をしています。

子どもにもケア責任を引き受けている自覚がなく、表面化せずに成長・発達・自立が脅かされています。

大人が気づくために教育現場で研修を強化することや、国の補助金を活用してヤング

ケアラーコーディネーターの配置、ワンストップ窓口の設置を求めました。

市の回答

国の補助金を活用してヤングケアラーコーディネーターの配置や、ヘルパーが訪問して家事支援や子ども達の相談にのる等の支援員の配置を検討する。



障がい者の医療費

窓口無料化を

障がい者福祉医療は、一旦窓口で支払って後で戻ってくる仕組みのため、手元に現金がないと医療にかかれません。

子どもの医療費窓口無料化と同じように、障がい者窓口無料も実現してほしいと強く要望しました。

市の回答

市単独実施は困難なので、国や県に働きかけていきたい。

実現まで皆さんと共に運動を進めます。

トイレトペーパーと同じように 生理用品の配置を

生理の貧困から始まった生理用品への要望は、今年度から女性センター内のトイレ個室に設置が実現しています。

(写真)

さらに公共施設や小中学校のトイレに設置拡大することを要望しました。



市の回答

ジェンダー平等の観点から公共施設にさらに拡大したい。中学校一校で試行し、子ども達にアンケートを実施し検討したい。



一歩前進しました。

大町市では、2学期から中学校の女子トイレに生理用品が設置されて、子どもや保護者に大変歓迎されています。

実効あるコロナ対策を

生活福祉課が年末に生活相談臨時窓口を設置しました。チラシには「生活保護は権利です」「持ち家や自動車の保有が認められる場合があります」と書かれていました。長年、私たちが要望してきたことが行政を動かしています。

インフルエンザとコロナの同時流行が起ると、発熱外来がさらにひっ迫する事が予想されます。その対策として

- ① 小児科・内科夜間急病センターの昼時間帯を活用して、公的な発熱外来を開設
- ② 検査キットの無料配布
- ③ 障害・高齢施設の減収補填を要望しました。

市の回答

医療従事者の確保が困難なため、公的発熱外来は実施しない。県が非課税・就学援助世帯や障がい者施設の従業者に検査キット無料配布をしているので、それ以上の対象者拡大は考えていない。

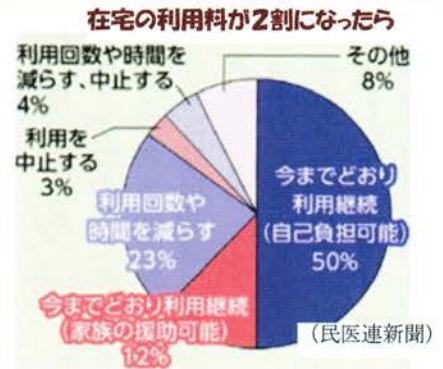
介護される人・する人がともに大切にされる介護制度を

岸田政権は大軍拡を進める一方で介護保険分野の大削減をねらっています。

改悪に反対する運動と世論が2024年度制度改悪を止めましたが、厚生労働省は改悪を諦めない姿勢です。

介護保険制度はずっとサービスの削減、費用負担の引き上げが続いています。一方、保険料は発足時の2倍になっています。

このままでは、「保険あって介護なし」という事態がいつそう広がってしまいます。



安心して老後が送れない

要介護3と2のBさん夫婦。月に二十七万円の収入があります。Bさんは認知症があり、介護老人保健施設に入所し、月十万円程の支払いがあります。妻も一人暮らしが不安で、施設入所を希望していますが、有料は月十六万円程かかると言われ、家の維持費もあるために入居に躊躇しています。

昨年十月から医療費改定により、夫婦は医療費2割負担になってしまいました。これで介護利用料が2割負担になるとBさんは...



ギリギリの所で負担増になっている高齢者はどうしているか。良いのでしょうか。

協立福祉会 相談員

政府が目指す介護の行先

- ①ケアプランの有料化
- ②要介護1、2の保険外し
- ③利用料2、3割負担の対象者拡大
- ④施設の人員基準の引き下げ
 - ・サービスの低下
 - ・スタッフ負担増
- ⑤福祉用具の貸与から購入へ

介護難民をつくらないために

声を大にして

国がねらう現行以上の制度改悪は介護難民を生み出しかねず、介護の深刻な人手不足解消、待遇改善にもつながりません。

利用料一割が二割になるということは利用料が二倍になるということ、年金生活者には厳しく、介護現場からは利用控えて重度化が加速するのではないかとこの声も聞こえます。

これら制度見直し論議は、市民には十分に知られていない状況です。

介護は、いずれ若い世代も利用する公的制度です。

今後の改定に向け検討されている主要課題・項目を広く知らせ、制度改悪の策定をストップさせましょう。誰でも安心して利用できる介護保険制度とすためにも、市民の声を大にして改善を求めていきましょう。

長野県高齢者生活協同組合

中信地域センター長

風間隆治

保護条例改定に異議あり

個人情報 匿名加工で

企業に提供していいのか

国のデジタル関連法により、個人情報保護法が改定されました。それに伴い自治体が独自に定めている個人情報保護条例の全面改定が求められました。

その内容は自治体が保有している個人情報を守るのではなく、活用できるものに変えようというものです。

匿名加工情報にすれば個人情報ではなくなり、このデータを企業に提供して企業の儲けのタネにできるようになります。

パブリックコメントを求めらるなどして市民に知らせることや、企業提供を当面はしないことを要望しましたが、議会で通過してしまいました。

松本市には個人情報保護審議会がありますので、審議会がしっかりと機能するようにチェックをしていく必要があります。



活動日誌

福祉入浴券

福祉入浴券の存続を希望する市民の会は浴場組合の協力も得て510名の方々からアンケートを集めました。



記者会見に同席

市民の声を行政につなぐため、市長要望や陳情等に同席して会の活動を後押ししました。
廃止も検討されていた事業を、当面は継続実施を約束させました。

高校生と交流

市議会議員と高校生の交流事業は8年目。私は交流部会副会長を務めています。今回は梓川高校・松本工業高校と交流しました。

高校生が出生率の低下を心配し、また将来年金がもらえるのかという不安も出されました。

高校生が現実を直視し、しっかりと意見を驚かされ、頼もしく思いました。



マイナンバーカード



生保世帯に「マイナンバーカードで生活保護指定の医療機関を受診することになります」という、通知が届きました。
マイナンバーカードが医療券の代わりになると読み取れる内容で、生保利用者に不安と混乱を与えました。
生保差別につながる問題にし、撤回につながりました。
またカード作成は任意であることを周知徹底するように要望をしました。

きずな村

並柳団地集会所で行われた分散型きずな村に参加しました。

参加者からのアンケートには、物価高で生活が大変苦しいと回答した方が多く、

物価高騰対策を本格的に行うことが必要だと強く感じました。



暮らしの相談から

一人暮らしの方から、急に具合が悪くなった時にどうしたらいいかと相談がありました。

市のサービスで「緊急通報装置」を活用することや、もしもの時の対応をご近所にお願ひしておくなどのアドバイスをしました。

コロナの陽性になったひとり親の方からの相談がありました。

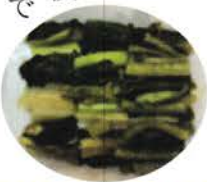
子ども達の面倒を見ることや買い物などが困るといふ相談で、保健所の担当者に相談し、支援につなぎました。

高齢者の地域の集まりで介護保険の説明をして欲しいと依頼があり、タッチケア方法や介護保険の申請方法等説明しました。

ほっとひといきコーナー

埼玉から引っ越してきてまず驚いたのが、お茶と共に出される季節ごとのお漬物でした。

冬は野沢菜漬けです。簡単な漬け方しかマスターしてませんが、たまり漬の素とお酢と氷砂糖で漬けてみました。ごはんのお供にもなっています。



たか子サポーター 大募集

一緒に塩原たか子を応援して下さる方を大募集です。活動報告や各種イベントのご案内をお送りさせていただきます。右記のQRコードからお申し込みください

